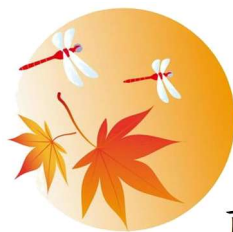


満月や兔飛び跳ね白い餅  
夕焼けの赤い火燃える彼岸花  
城跡の徒然なるは都落ち

つれづれ

前田昌之



リハビリ作品展

令和六年菊月の号

赤トンボ命ある限り翔べよ夕日に向かって

茜空に染まる赤トンボの羽根美しきかな赤の色

父娘で紅葉狩り美しき景色に娘の頬も紅葉なり

松本松陰



まだ色付かず山の木々 緑を過ぎ美しく色づく頃を想い  
紅葉を一枝つまんで服に入れ秋を楽しむ

千代

耳鳴りでミンミン蝉が騒がしい  
目には蚊が飛蚊症とお付き合  
い  
焼き餅はお多福みたく膨らんで

ユミチャン

